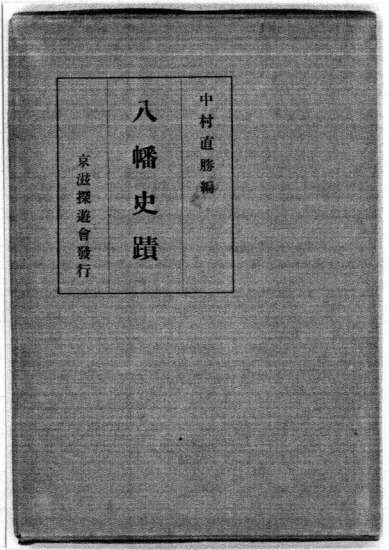


中村直勝 （中村直勝） 國史學者、文學博士。明治二十二年六月七日滋賀縣生れ、昭和五十一年二月二十三日歿（八九〇一七六）。大正四年京都帝國大學文科大學卒。第二高等學校教授、京都帝大助教、京都女子大學教授歴任。昭和四十一年大手前女子大學學長就任。中世史、古文書學專攻。『中村直勝著作集』全十（一巻）（昭和五十三年一五十四年刊）がある。

著書 『醍醐天皇御事略』（昭和二十一年十一月五日京都・醍醐天皇一千年御遠忌事務局）、『宇多々天皇御事紀』（昭和五年五月六日京都・宇多天皇一千年御遠忌事務局）、『日本古文書學』（昭和八年十月五日國史講座刊行會「國史講座」）、『建武中興と大阪一兩府政』（昭和九年二月一日大阪・村岡良臣編刊）、『大織冠藤原鎌足公』（昭和九年十二月二十五日奈良・談山神社社務所内御列格六十年周年記念奉贊會）、『徳川家光』（昭和十年四月十日建設社「少年大正史」）、『大楠公と語る一 大楠公六百年祭記念講演集』（合著、昭和十年五月二十五日大阪・朝日新聞社）、『京良親王御傳略』（昭和十年九月二十一日靜岡・官幣中社井待谷宮奉贊會）、『八幡史蹟』（編、昭和十一年八月二十五日大阪・京滋探勝會）、『大阪（北富親房、顯家兩卿』（昭和十二年五月五日大阪・北富顯顯彰會）、『大智天皇の御聖蹟』（合著、再版、昭和十二年五月二十五日滋賀・近江神宮奉贊會）、『八幡神社と祇園會』（昭和十五年六月二十日高知美由刊「官幣中社八幡



神社纂錄』(、『樹觀圖史』(昭和十六年十月)二十日北海道出版社)、  
 『水益瀨・山崎附近』(昭和十七年二月)二十五日大阪・京阪電氣鐵道  
 株式會社「趣味の京阪叢書」)、 『食のくろ』(合著・宮崎小次郎  
 編、昭和十七年二月十五日京都・晃文社)、 『日本文化と京都』(昭  
 和十七年五月二十日京都・京都市教育館文化課)、 『學徒宣言』(合  
 著・白井喜之介編、昭和十八年二月)二十日京都・白井書房)、 『隨筆  
 楠公』(昭和十八年十一月十五日京都・星野書店)、 『神社文化史』  
 (昭和十九年三月)二十日京都・一條書房)、 『奈良の上代文化』(合  
 著・橋本凝胤編、昭和十九年十一月十五日大阪・全國書房)、 『日本  
 思想史』(昭和二十一年十月十日大阪・室書房)、 『歴史の反省』(合  
 著・青丹會編、昭和二十二年一月十五日京都・永田文昌堂)、 『二  
 高八十年回顧』(合著・大浦八郎編、昭和二十五年四月一日關書院)  
 等。

